

富倉徳次郎 とくらう 國文學者。明治二十二年二月八日東京生れ（一九〇
一）。筆名富倉二郎。大正十五年京都市帝國大學文學部國文學科卒。京
都女子高等學堂附設校、二松學舎大學、駒澤大學各教授歴任。

著書『日本職記文學』（昭和十六年一月、二十日弘文堂書房「教養文
庫」）、『明德記』（校訂、昭和十六年十一月二十五日岩波書店「岩波
文庫」）、『北の兵隊』（昭和十七年十一月十五日青栢堂）、『無名
草子』（校訂、昭和十八年二月、二十日岩波書店「岩波文庫」）、『兼
好法師研究』（昭和十八年二月、二十日、復刊・二十一年九月十五日京
都・丁字屋書店「日本學藝叢書」）、『源氏盛衰記・一』（校訂、昭
和十九年四月五日岩波書店「岩波文庫」）、『平家物語』全二冊（校
註、上、下・昭和十九年四月二十日朝日新聞社）、『方言記』（昭
和十九年十一月、二十五日弘文堂「グテネ文庫・古典解説シリーズ」）、
『源氏物語入門』（昭和二十年九月五日創藝社）、『風物帖』（昭和
二十二年十一月五日みずび書房）、『大正永延慶本平家物語ぶつこく』
（昭和二十六年五月、二十一日大東書院公文庫「文化講座シリーズ」）
等。

